

6. 環境にやさしい事業活動の推進

- | | |
|---|--|
| (1)環境への負荷を低減する事業活動の推進
(2)農業における環境保全機能の向上
(3)森林資源の活用
(4)地域資源の活用 | (リーディング事業)
6-1 森林吸収源活用によるCO ₂ 削減推進事業 |
|---|--|

地域ぐるみ環境 ISO 研究会の活動

地域ぐるみ環境 ISO 研究会は、平成 9 年に市内 7 事業所でスタートしたボランティアの団体です。現在では、31 事業所の組織となり年 2 回の代表者会や実務者会を開催する中で各種事業を展開しています。

環境改善活動は、一事業所だけの取り組みでなく地域全体で取り組むことで効果が上がります。まさしく、点から面への活動をすすめています。

主な活動として、独自の環境マネジメントシステムである「南信州いいむす 21」(飯田版環境 ISO)を構築し、小規模事業者でも環境改善活動が取り組み易い仕組みとなっています。この活動支援を研究会が行っています。「南信州いいむす 21」は、約 60 事業所が登録認証されています。平成 21 年度には、最高レベルである「南信州宣言」の 2 事業所目や初の「上級」が誕生するなど、ステップアップを通じて、特徴ある環境改善活動が実施されています。

また、継続的に取り組んでいる活動としては、年三回、6 月「環境の日記念」・10 月「生活と環境まつり」・2 月「京都議定書締結記念」に一斉行動を行っています。これは、ノーマイカーをはじめエコドライブやライトダウンそしてノーレジ袋などを研究会が呼びかけ、約 100 事業所の皆さんが取り組まれています。

平成 21 年度では新たに「エコキャップ運動」(ペットボトルのキャップを回収し、ワクチン購入に充てました。)を加え、380 kg (約 15 万個)集まり約 200 本のワクチン代となりました。

その他、学校からの要請により、「環境講座」に研究会のメンバーが出向き、各事業所で取り組んでいる環境改善活動の発表などを行っています。



「生活と環境まつり」の様子

6 環境にやさしい事業活動の推進

(1) 環境への負荷を低減する事業活動の推進(地域ぐるみ環境ISO研究会事業者の取組)

実施主体	実施事項
(株)アイパックス	<p>2001年ISO14001取得 環境方針に基づき、目的目標を設定し活動している 環境配慮型製品の開発と普及を促進する □関連商品の販売拡大 段ボール包装容器の販売拡大 省エネルギー・省資源及び地球温暖化の軽減に取り組む 電気使用量の削減</p> <p>廃棄物の減量化 ゴミの排出量の削減 再利用化率の向上</p> <p>環境保全活動の実施 会社周辺の清掃活動</p> <p>2009年より 地域ぐるみISO研究会に加入 一斉行動 イベントなどに参加 ノンフタル接着剤への変更 営業車両ハイブリッド化 2台導入 材料受入用ベニヤ板をプラ段に変更し、廃棄物削減 廃プラスチックの中から、使用済みストレッチフィルムを分別圧縮し、廃棄物から有価物化</p>
イワタニ長野(株)飯田支店	<p>太陽光発電システムの提案・販売・施工 エネファーム(家庭用燃料電池コージェネレーションシステム)の提案・販売・施工 省エネで燃焼効率が優れているエコジョーズ(高効率ガス給湯器)およびエコフィール(高効率石油給湯器)を多数販売・施工</p> <p>商品の梱包等で不要になった発泡スチロールは溶剤で溶解し、リサイクルに努めている。 商品の梱包等で不要になったダンボールは分別し、回収している。 全社で毎月第2水曜日はノー残業デーを実施している。</p>
井坪設備工業(有)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車市民共同利用システム推進事業に参加し、自転車を1台借用し現場や市内の移動に利用している。 ・ 環境配慮型商品の研究と斡旋。 ・ 地域ぐるみISO研究会事業、イベントへの積極的参加。 ・ 産業廃棄物の分別リサイクル化。 ・ 南信州いいむす21登録。

実施主体	実施事項
オムロン飯田（株）	<p><省エネ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産ライン稼働中の待機電力大幅 ・ 熱源設備への断熱材取り付けによる空調負荷低減 ・ エア漏れチェックの定期運用システム構築と実施 ・ 省エネ法に基づく管理標準の一斉整備 <p><省資源></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物を、サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへの変更推進 ・ トイレのフラッシュバルブ流量を減らし、水使用量を削減 ・ 設計プロセス改善によるコピー用紙の大幅削減（9万枚/年削減） <p><リサイクル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物を、中間処理量・再資源化量・最終処分量に区分けして、最終処分までの実質再資源化率05年7月から98%以上を達成。以降現在まで98%以上を維持。 <p><グリーン調達/購入></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕入先全社を対象にグリーン調達を実施 ・ 事務用品のグリーン購入実施 <p><化学物質></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉛フリー化の推進 <p><アセスメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品アセスメントの実施 ・ 設備アセスメントの実施 ・ 化学物質アセスメントの実施 <p><地域貢献></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会社周辺のごみ拾い 3回/年実施 ・ 福祉施設の清掃、カーブミラー拭き 1回/年実施 ・ 会社周辺の草刈 4回/年実施 ・ 地域の会社見学受入れによる啓蒙活動実施（随時） ・ 親子で水質調査（リサイクルシステム研究会主催）へ参画 ・ INAコピー用紙回収システムへ参画
化成工業（株）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成形工程において発生した廃プラの社内リターン化によるリサイクルの推進。 ・ 回収業者と協力して廃プラの分別徹底と再資源化推進。 ・ 成形機ヒーター部へ断熱器具取付けによる余剰加熱電力抑制。 ・ 工場照明の一部を水銀灯から蛍光灯へ変更し電気使用量低減。 ・ 照明機器をセンサー式に改良し節電。 ・ 会社周辺及びR153のゴミ拾いなど地域の美化清掃を実施（10月、11月）。 <p>資源の浪費を抑えると共に生産効率を犠牲にせず経費節減に結びつける努力をしている。</p>

実施主体	実施事項
木下建設(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年11月に、職員全員で、大宮通の桜並木の落ち葉清掃を行っています。又、その落ち葉を肥料にして、地域の皆様に利用していただくよう配布しています。 ・ 年2回、「りんご並木に花を植える会」主催のチューリップ、パンジー等の球根の植え付け、草取り、清掃に参加しています。 ・ 毎年5月に(財)長野県テクノ財団他主催の「天竜川水系環境ピクニック」に参加して天竜川等の河川清掃を行っています。 ・ サングン会館主催のラブロード(R153号線の空き缶・ゴミ拾い)、ラブリバー(天竜川河川敷の空き缶・ゴミ拾い)に参加しています。 ・ 名古屋支店では、毎週事務所周辺道路の清掃を行っています。 ・ 南信州いいむす21 ISO14001南信州宣言の適合確認を受け、地域全体での環境改善に一層努力していきたいと思いません。 ・ 「自転車市民共同利用システム推進事業」に参加し、温暖化防止に協力します。
神稲建設(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本社では毎朝飯田市主税町の道路と緑地帯の環境清掃を行っております。 ・ 高森事業センターでは毎朝事業所周辺の環境清掃を行っています。 ・ 全社で毎週水曜日はノー残業デーを実施しております。 ・ 毎月第二水曜日はライトダウンの日と定め実施しております。 ・ 高森事業センター・くましろホールに省電力機器を設置し電力削減を行っております。 ・ 産業廃棄物減量化・適正処理実践協定を結び、産業廃棄物の一層の減量、再資源化に取り組んでいます。 ・ バイオ生ゴミ発酵消滅機(シンクピア)の代理店となり販売・取り付けを行っております。(生ゴミをバイオの力で水と炭酸ガスに分解) ・ 飯田市の自転車市民共同利用システム(レンタサイクル)に参加し通勤・業務に自転車を利用し、CO2削減に取り組んでいます。
シチズン平和時計(株)	<p>(省エネ・省資源の取組み)</p> <p>ものづくりにおける効率化の推進 環境配慮型製品・設備の開発の推進 紙使用量の削減活動 ノーマイカー通勤運動 廃棄物の削減活動 一斉行動週間に参加</p> <p>(地域社会への貢献活動)</p> <p>「天竜川水系環境ピクニック」に参加(毎年5月) 5月30日(ゴミゼロの日)に工場(4工場)周辺のゴミ拾い</p>

実施主体	実施事項
中部電力(株)飯田営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場に隣接するりんご並木の除草および事業場周辺の道路のゴミ拾いを、年に数回行っています。 ・主に小学生を対象に、ご要望に応じて出前教室を実施しており、エネルギー資源と地球温暖化について話をさせていただいています。 ・婦人会、自治会など各種団体を対象に、「電気何でも相談室」を開催いたします。 <p>電気に関する安全・上手な使い方など、省エネに関する話もいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、天竜川環境美化活動に参加しています。
(株)トーエネック 飯田営業所	<p>1. 地域貢献活動の実施 目標値：平成21年度末までに4回以上地域貢献活動を実施する。 具体的活動：行政及び町内会等と協調し、事業場周辺の清掃活動又は地域貢献活動を実施する。</p> <p>2. 事務用品のグリーン購入の推進 目標値：平成21年度末までにグリーン購入率を90%以上とする。 具体的活動：事務用品の購入時にカタログを確認してグリーン購入に務める。</p> <p>3. 電気使用量の維持 目標値：平成20年度電力使用量実績の維持 具体的活動：電力使用量の実績把握</p> <p>4. 車両燃料使用量の維持 目標値：平成20年度の車両燃料(ガソリン)使用量の維持 具体的活動：燃料使用量の実績把握</p> <p>5. 紙屑リサイクルの促進 目標値：紙屑リサイクルの促進 具体的活動：紙屑排出量の実績把握</p> <p>6. 産業廃棄物の再資源化の維持 目標値：紙屑リサイクルの促進 具体的活動：産業廃棄物分別チェック、排出量の実績把握</p>
夏目光学(株)	<p>ISO14001:2004の経営ツールとして、PDCAを確実に回していく事に拠り、環境改善も同時に図っていく事を目指して取り組んでいます。</p> <p>長野県省エネパトロール隊に会社を見て頂き、日頃気付かない点に関してご指摘を頂きました。</p> <p>経営環境は厳しい状況であり、すべて取り込む事はできませんでしたが、直ぐにできる事については工場内取組、特に節電対策を行いました。</p> <p>デマンドの監視システムを設置し、電気使用量を監視しています。</p> <p>ECOキャップ運動を社内を実施しています。</p> <p>ノーマイカーによる通勤に各個人目標値を決めて取り組んでいます。中には目標の3倍～5倍実施してくれる社員もいます。</p> <p>環境管理技術の勉強会に積極的に参加し、新たな環境に関する取組を模索しています。</p>

実施主体	実施事項
(株)原鉄	<p>エコドライブの実施(燃費向上) レンタル機械(建設機器等)購入時の環境にやさしい商品の検討・購入 生ごみ処理機(はらぺこくん)の販売・保守(生ごみの循環型システム) 工業排水処理施設の提案・実施・維持管理 電気・紙の使用量削減 廃棄物の削減</p>
三菱電機(株) 中津川製作所飯田工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員参加による職場内の無駄の発見と改善活動(もったいない作戦)継続。 ・ 省エネ月間による省エネルギー活動の啓蒙。 ・ 新工場(太陽光発電)の照明の一部にLEDライト採用による省エネ。 ・ 所内ブラックイルミネーション実施による夜間照明省エネ(毎月土日、給与日、賞与日) ・ 機械設備の排気ガス除去装置導入による温暖化効果ガスの削減(前年より継続)
盟和産業(株)長野事業所	<p>《環境改善に関わる取組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 省資源(社内発生廃プラスチック複合材のリサイクル還元、社外リサイクル材の利用) 表皮(PET繊維/PP繊維混紡不織布)/PP基材品 粉砕分離、PP基材部分を還元利用 塩ビ製品生産時不良・戻りの購入利用 ・ CO2削減(社内エコドライブ運動):事業所から全社取組み(2006年度の15%以上削減) フォークリフトの燃料削減: ガソリン&軽油 10,340l/月 7,270l/月以下 社有車使用燃料削減: ガソリン&軽油10,640l/月 8,880l/月以下 ・ 産業廃棄物削減: 埋立廃棄物 205トン/年以下(2006年度の40%以上削減) ・ エネルギー削減: 電力指標 2.40kWh/売上げ千円 以下(2006年度の4%以上削減) 蒸気指標 0.200l/売上げ千円 以下(2007年度の1.5%以上削減) ・ 環境負荷物質削減: PRTR対象物質(トルエン、キシレン)使用量 1,224kg/年以下 (2006年度の30%削減)

実施主体	実施事項
吉川建設（株）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全社的な取り組み ISO14001を認証取得し、環境方針、環境目標を定め活動を行っています。 地球温暖化対策推進本部が推進している国民運動「チーム・マイナス6%」運動に参加しています。 2. 建設現場等での環境活動の取り組み 現場事務所など太陽光発電を取り入れた省エネへの取り組みを行っています。 建設廃材などの分別を徹底し、混合廃棄物を減らす活動を行っています。 営業、設計部では、環境にやさしい設計提案、営業提案をしています。 3. 地域の環境改善への取り組み 本社、飯田支店では、飯田りんご並木通りの環境清掃活動を行っています。 松本支店では、支店周辺の環境清掃を実施しています。 長野県南部防災対策協議会による天竜川河川清掃、道路清掃活動に参加しています。 長野県テクノ(財)による諏訪湖・天竜川水系健康診断活動及び天竜川水系環境ピクニックに参加しています。

6 環境にやさしい事業活動の推進

(1) 環境への負荷を低減する事業活動の推進 (*はリーディング事業)

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体
監査 (Co2 排出量の見える化)	<p>定期監査資料及び監査報告書において CO2 排出量の「見える化」を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H20.10.31 産業経済部、農業委員会 ・ H20.11.4 保健福祉部、危機管理部、会計課 ・ H20.11.6 座光寺・松尾・下久堅・竜丘・上久堅・千代・龍江自治振興センター (公民館等) ・ H20.11.10 企画部、水道環境部 (水道局含む)、建設部 ・ H20.11.12 教育委員会 (学校教育課、生涯学習・スポーツ課、市公民館、美術博物館) ・ H20.11.14 教育委員会 (歴史研究所、文化会館、中央図書館)、市立病院、介護老人保健施設 ・ H20.11.17 総務部、選挙管理委員会、議会事務局 <p>(報告)・H21.2.13 監査報告書</p>	<p>CO2 排出量の数値化により</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排出量が他課等と比較されることにより、削減が期待される ・ 排出量の経年変化の把握ができる ・ 各課等の自己管理が期待される 	監査事務局
振込通知メール化促進事業	<p>紙の削減と郵便配達時の燃料の削減等を目的に、振込通知を電子メールで受信するよう推進しています。合わせて、行政コスト (郵送料) の削減を図りました。</p>	<p>ハガキに使用される紙資源 (森林資源など) の削減、配達時の燃料削減と CO 排出量の削減につながります。</p>	会計課
公共下水道事業の見直し	<p>公共下水道事業の残事業調査を行い、現状の計画対象となっている建物については、集合処理対象地域であっても関係地域の理解を得ることを条件に個別処理による対応を図るなどの見直しを行いました。その結果、線路延長約 7 km を削減し、事業費の減額を図りました。</p>	<p>事業量の減による約 250t の CO2 排出削減を図りました。</p>	水道業務課 下水経理係
研究会の立ち上げと環境関連技術センターの設置の研究	<p>飯田市環境技術開発センターの ISO14001 は、平成 21 年 2 月に更新審査を合格し、平成 21 年 2 月の 1 年次サーベイランスも無事終了しました。</p> <p>センターの環境に対する積極的な取組みの大きな点は次の 2 点です。</p> <p>センター入居企業による『環境に配慮した研究開発』の実施</p> <p>センターの『省エネ活動』『エコ運転の実施』『ごみのリサイクル活動』の実施</p>	<p>センター入居企業、環境産業公園内企業及び近隣企業に ISO14001・南信州いいむす 21 の普及を推進します。センター内の環境活動を実施し、省エネ・省資源活動や環境美化につながります。</p>	工業課

<p>環境産業公園などに進出する企業の環境への配慮</p>	<p>桐林環境産業公園 産業公園内に立地する企業で構成する環境会議を随時開催し、環境への取り組みについて検討しています。工場の増築の計画については「環境整備方針」に沿って、整備計画の検討を行いました。工業団地内外の企業・事業所等とともに環境産業公園連絡協議会を組織し、環境産業公園内の草刈りなどの環境美化活動を行いました。 一本平産業団地 立地企業により構成する「環境会議」を設置し、環境宣言の実施と環境整備方針、公害対策自主基準を設け、管理しています。また、産業団地内の草刈りなどの環境美化活動を行いました。 経塚原産業団地 立地企業の環境及び景観配慮に関する「環境整備方針」を定めました。</p>	<p>独自の環境宣言と環境整備方針により、環境に配慮した企業設備の設置と会社運営が行われており、近隣地域にも理解を得ています。</p>	<p>工業課</p>
<p>環境配慮型新商品の販売促進の支援</p>	<p>飯田市内の事業者などが開発又は製造した環境配慮型製品の販売を支援するため、平成 13 年度に市独自の認定制度を創設しました。平成 20 年度末現在で認定数は 15 件です。 「資料編 第 5 章 4 ぐりいいんだ一覧」参照</p>	<p>認定製品を P R し、使用普及させることにより様々な分野の環境に対する負荷を低減することが出来ます。</p>	<p>工業課</p>
<p>公共建築物整備規程による、環境への配慮の推進</p>	<p>公共建築物は公共建築物整備規定に基づき、省資源・省エネルギーの推進、新エネルギーの活用、廃棄物の削減、リサイクルの推進等により環境への配慮を行うこととしています。</p>	<p>国産材利用の普及啓発効果が期待されます。 周辺の景観に成果を上げています。</p>	<p>都市・地域計画課</p>
<p>開発行為等に対する指導</p>	<p>飯田市が景観法に基づく景観行政団体となって、同法に基づく飯田市景観条例の制定と景観計画の策定を行い、平成 20 年 1 月 1 日に施行しました。景観計画区域内における行為の届出を行うよう指導を行いました。届出があったものについては景観育成基準に適合する計画となるよう指導しました。平成 20 年度（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）の景観計画区域内の行為届出件数は 72 件ありました。</p>	<p>一定規模以上の開発等の把握、指導により、良好な景観づくりにつながっています。</p>	<p>都市・地域計画課</p>
<p>環境調整会議</p>	<p>環境に配慮した公共事業を実施するため、市役所庁内に「環境調整会議」を設置し、対象となる市の事業を定め、総合的な調整を行っています。事務事業進行管理表の策定時に環境調整会議の有無をチェックし、年間の環境調整会議の開催予定をたて計画的な開催を行っています。 環境調整会議が ISO14001 システムや公共工事環境配慮評価要領などにより関連を深め、効率の良い運用を図るため、より現場に近い課長職で環境調整会議を組織し、ISO14001 で定める環境管理責任者でもある水道環境部長を会長として、平成 17 年 4 月から新しいシステムとして運用しています。</p>	<p>飯田市が行う公共事業の実施にあたり、環境調整会議を行うことにより、環境に配慮した事業実施ができました。</p>	<p>環境課</p>

地域ぐるみ環境ISO研究会の活動	29の事業所により構成する研究会活動を実施しています。 飯田・下伊那地域で独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の普及を通じて、地域全体の環境改善活動のレベルアップに取り組む活動をしています。	研究会活動を通じて地域の事業所が連携し、環境改善への取り組みが展開されています。	地球温暖化対策課
市役所の環境改善活動への取組	市役所本庁舎を対象としたISO14001自己適合宣言を行い、引き続いて環境改善活動への取組を行なっています。102の出先機関のうち29は本庁舎と同様にISO14001自己適合宣言の適用範囲とし、残りのうち50部署では独自の環境改善活動「いいむす21」に取り組んでいます。	市の事業における環境負荷の低減が図られました。	地球温暖化対策課
南信州いいむす21の取組	登録事業所からの取組状況報告を廃止し、直接、研究会が登録事業所を訪問して取組を支援するシステムに変更しました。21年3月末現在の登録事業所数55社。	環境マネジメントシステムを通じた各事業所の環境改善のための行動と、行動を通じた意識づくりにつながりました。	地域ぐるみ環境ISO研究会 地球温暖化対策課

(2) 農業における環境保全機能の向上(*はリーディング事業)

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体
地元農産物を地元で消費できる仕組みづくり(学校給食、保育園など公共施設の給食への地元農産物供給利用システムづくり)	産業経済部内に設置した域産域消プロジェクトで、公共給食における地元農産物の利用に取り組み、次のような成果を上げました。 地元農産物の5月から11月における主要10品目の使用量60.6t、使用率40.4% 主要10品目...ニンジン、玉ねぎ、ジャガイモ、ほうれん草、小松菜、キュウリ、トマト、アスパラガス、キャベツ、ピーマン 学校や保育園において給食と連動した地域食材の日を設定し、身近な食材に親しみを持つ活動	園児、児童の地元食材への関心が高まり、域産域消の意識が高まった事は、結果としてフードマイレージの削減にも繋がりました。 また、統計期間を地元農産物が露地栽培可能となる期間としたことにより、農作物自体の低炭素にも繋がります。	農業課
有機質堆肥などによる良好な土づくりの推進	「生活と環境まつり」で有機質堆肥利用の普及啓蒙を図りました。	有機堆肥利用促進による化学肥料に偏らない環境に配慮した土づくりと循環型農業の確立に効果がありました。	農業課
回収とリサイクルシステムの確立	農業用廃プラスチック適正処理推進事業打合会を開催し(12月12日)、廃プラスチック、不要農薬回収事業についての打合せを行いました。	農業協同組合、資材販売業者等を含めた回収体制の確立に効果がありました。	農業課
低農薬、減化学肥料の推進	土壌分析に基づく適正な施肥を行うため、土壌分析を推進し分析結果を農家に返還しました。分析件数 617地点(野菜442点、果樹88点、花卉3地点、水稻83点、小豆1点) 果樹栽培におけるフェロモン剤(コンフェザー)の導入により農薬削減を図るとともに病害虫管理のための推進体制整備を行いました。導入面積94ヘクタール	化学合成農薬の削減、適正施肥による環境負荷低減の推進体制ができました。	農業課

中山間地域等直接支払事業	次のとおり中山間地域における条件の不利な田畑を遊休化させない集落協定を締結しています。 協定集落数 25 参加農家数 846人 協定締結面積 214ヘクタール	協定内農地や周辺の農道・水路の保全を集落ぐるみで行うことにより、農村の景観保全に努めています。	農業課
中山間地域における循環型生活環境整備の推進	天竜川以東の地域及び三穂地区において通年を通じ214ヘクタールの農地の耕作管理、集落美化活動を通じた地域づくりが行われました。	中山間農用地の荒廃化防止、集落での連携強化、環境美化につながりました。	農業課

(3) 森林資源の活用(*はリーディング事業)

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体
新山村振興等農林漁業特別対策事業(ウッドアンドアース)	地域資源の最大資源である木材に付加価値をつけ、林産物加工施設を整備することにより林家の所得向上及び、就労の場を確保し、また、この事業を推進することにより間伐が進み、山林が持つ公益的機能の維持保全を確保します。 ウッドアンドアース平成20年度の実績 原木加工量：5,600 m ³ 製品出荷量：2,125 m ³ 販売額：114,252千円	木材加工品の出荷を増やすことにより、地元産材の消費が進みます。その事により、山林資源が活用され里山保全に寄与します。	南信濃自治振興センター
伊那谷の森で家をつくる会	「伊那谷の森で家をつくる会」は、健全な自然環境、豊かな伊那谷の景観を創造することを目的に平成14年1月に発足しました。また、平成19年1月に策定した「飯伊地域林業将来ビジョン」により森林組合が中心となり南信州木づかいネットワークを構築し地域の木材の活用と流通改善の方向性が示された。これにより、「伊那谷の森で家をつくる会」で行っている工務店・設計士・製材所のグループによる地域材振興を飯伊地域に拡大することとなりました。地域産材活用に対する補助については、県では施主に対し1棟40万円の補助を行いました。飯田市でも19年度から工務店にPR補助を始めました。	イベント展示等でのPRを通じて地元産材の普及が期待されます。	林務課

(4) 地域資源の活用(*はリーディング事業)

施策の名称	実施事項	環境に対する効果	実施主体
就農相談窓口の常設ワーキングホリデーの推進	就農相談窓口の常設(新規就農希望者への農地の紹介)	遊休農地の解消による環境保全が期待されます。 高齢農業者のモチベーションアップによる農業経営の維持が期待されます。	農業課

ワーキングホリデーの実施	<p>農業や農村に関心を持ち真剣に農業をやりたい方や就農を考えているが具体的な方法や手段がわからない方々と、繁忙期の手助けや後継者が欲しい農家を結び、お互いの足りないところを補う「パートナーシップ事業」です。</p> <p>平成 20 年度は、春 2 回、秋 2 回、通年で 560 人が延べ 2,572 日飯田市を訪れました。</p>	農山村の良さの認識度アップにつながります。新規就農者の獲得につながります。	農業課
農村体験ツアー、カントリーウォーク、市民農園、オーナー制度など多様な交流事業の推進	<p>農家等による市民農園の開設が行われています。小野子と下栗のクラインガルテンは満員で使用されており、都市住民との交流が実施されています。</p>	都市部との交流が期待されます。	農業課
体験教育旅行、南信州こども村体験、ドングリの森小学校などの実施	<p>体験教育旅行の入り込み団体延べ 416 団体、延べ 25,500 人 南信州こども体験村 都市部の小学校 3 年生から中学校 3 年生まで 23 人が 1 週間滞在</p>	<p>環境を意識する市民が増加しました。 地域の自然、文化を市民が見直す機会となっています。</p>	観光課